

ランチョン)12:00~12:45 (12:30 までご講演)

座長: 獨協医科大学 埼玉医療センター 心臓血管外科 戸田 宏一先生

演者: 大阪大学大学院 心臓血管外科 吉岡大輔先生

講演 3) 12:45~14:30

座長: 大阪大学 心臓血管外科 川村 匡先生

DL 管理の実際(講演: 消毒手技、固定方法、シャワー浴方法講義)15分

大阪大学 末吉麻未様

各デバイスの VAD 装置の特徴・機能、装着適応、装着手技、成績

1) NIPRO+Biofloat(20分)

国立循環器病研究センター 心臓外科 藤内康平先生

2) EVAHEART2(15分)

埼玉医科大学国際医療センター 心臓血管外科 木下修先生

3) HeartMate II +3(20分)

名古屋大学 心臓血管外科 伊藤英樹先生

4) Impella(15分)

新潟大学大学院医歯学総合研究科 呼吸循環外科 堂前圭太郎先生

5) Jarvik2000(10分)

センチュリーメディカル株式会社 吉岡 篤様

6) HVAD(10分)

日本メドトロニック株式会社 渡邊 静様

実技講習) 14:30~17:00 (下記2つ以上に参加することで参加認定)

1.1.1 デバイスマックサーキュレーション

1.1.2 ウェットラボ

1.1.3 出口部管理

講演 4) 17:00~18:00VAD

座長: 徳島大学 心臓血管外科 秦広樹先生/大阪大学 循環器内科 世良英子先生

管理施設の立ち上げに向けて(何を準備すべきか、管理施設になったの苦勞など)

1) 院内体制整備

香川大学 循環器内科 井上朋子先生

2) 看護師の役割(創部管理、日常生活指導、緊急時対応、スタッフ教育)

三重大学医学部附属病院 慢性心不全看護認定看護師 木村友美様

3) 臨床工学技士の役割(外来時点検、継続指導、緊急時対応、スタッフ教育)

徳島大学病院 臨床工学技士 坂東直紀様

閉会の辞

受講証配布

第4回西日本小児補助人工心臓 VAD セミナープログラム

13:00-13:10	開会の辞	大阪大学 上野高義先生
13:10-14:00	講演1 小児心臓移植の適応・BTTについて	大阪大学 木戸高志先生
	講演2 Berlin Heart EXCORについて 特徴・機能・装着適応・ 装着手技(ピットフォールのみ)・成績	大阪大学 渡邊卓次先生
14:15-15:25	実技講習(下記2つ以上に参加することで参加認定) 1-1 デバイスマックサーキュレーション 30分	大阪大学 村辻雄大先生
	1-2 DL 出口部ケアの手技講習 30分	大阪大学 槇本美鈴先生
	1-3 ウェットラボ(デバイス装着手技) 60分 x 2	大阪大学 木戸高志先生・渡邊卓次先生
15:35-16:45	講演3-1 小児補助循環総論	座長 大阪大学 平将生先生
	1) 小児急性期補助循環の選択とアプローチ急性期 VAD 装着までの Bridge について	東京大学 平田康隆先生(web 配信)
	2) 拘束性障害を有する心筋症の補助循環の妥当性	大阪大学 石田秀和先生
	3) 先天性心疾患に対する VAD(EXCOR)治療	国立循環器病研究センター 小森元貴先生
	4) 右心不全を併発する患者に対する LVAD 治療	大阪大学 久呉洋介先生
15:35-16:45	講演3-2 小児補助循環の看護	座長 大阪大学 木戸高志先生
	1) ECMO 装着患者に対する看護のポイント	大阪大学 伊藤嘉余子先生
	2) 移植待機期間中の患者家族へのニーズに応じて	大阪大学 北村真世先生
	3) 移植施設でない病院での EXCOR 装着患者の看護	あいち小児保健医療総合センター 飯田涼子先生

4) EXCOR 装着による長期移植待機における看護

国立循環器病研究センター 前華那先生

16:50-17:00 閉会の辞

大阪大学 平将生先生

注：1：西日本補助人工心臓研修セミナーと西日本小児補助人工心臓 VAD セミナーを同時受講することはできません。

2：今年度よりセミナー修了の要件が厳格となり、デバイスモックサーキュレーション・ウェットラボ・出口部管理のうち 2 つ以上を受講していただかなければ修了証は発行できません。受講後申し出ていただき現地で済印を押ささせていただきますので、修了証受け取りまで大切にお持ちください。

3：大学の駐車場ご利用の方には駐車サービス券をお渡ししますのでお申し出ください（ただし、大阪大学および阪大医学部附属病院所属の方には発行できかねます。また患者様用の駐車場を使用するのはおやめください）。

4：事前申し込みの方以外は、当日中に修了証のお渡しができかねます。

5：当セミナーでは地球環境に配慮した SDGs を推進しており、印刷の無駄をなくすため、受講証・抄録集・領収書等の各位における事前印刷をお願いしております